

実践地域	美波町（由岐小学校・由岐中学校）
<p>1 本年度の研究テーマ 「チェーンスクール」に関する具体的な調査研究 ～たくましく生きる子どもづくりをめざした小中連携の在り方～</p> <p>2 取組の内容</p> <p>(1) 【小中合同推進委員会 5月15日】 両校の年間行事予定等を踏まえて、本年度の小中一貫教育への取り組み方について協議し、1年間の取組の共通理解を図った。</p> <p>(2) 【小中合同研修会 8月9日】 地域づくり団体「美波のSORA」の方々の協力のもと、「由岐再発見」をテーマとした教職員研修会を実施した。地域の歴史や防災についての講義を聞いた後、フィールドワークとして由岐地区内の石碑や遺跡等をめぐった。</p> <p>(3) 【小中合同避難訓練 9月1日】 美波町避難訓練に合わせて、小中合同で地震・津波を想定した避難訓練を実施した。</p> <p>(4) 【小中合同運動会 9月24日】 児童・生徒相互の自主協同精神や高学年児童及び生徒のリーダー性の育成をめざして合同運動会を実施した。</p> <p>(5) 【講演会への参加（教員） 10月30日、11月8日】 由岐中学校で開催された講演会に小学校教員も参加し、中学校での人権教育、保健教育について研修を深めた。</p> <p>(6) 【防災デイキャンプ 11月20日】 由岐小学校4・5・6年生と由岐中学校1・2年生が参加した。避難三原則「守る・逃げる・生きる」に基づき、南海トラフ地震に関連した臨時情報発表による避難所生活を想定した体験活動を行った。</p> <p>(7) 【マラソン大会 12月7日】 運営に係る諸準備を小中で分担したり、保護者の負担を軽減したりすることを考慮し、同日にマラソン大会を開催した。</p> <p>3 研究の成果と課題</p> <p>(1) 成果</p> <ul style="list-style-type: none">○ 「たくましく生きる子どもづくり」の目標達成に向け、様々な学習活動に共に取り組むことで子どもの発達段階や教育課程について相互理解を図ることにつながった。○ 学習活動や行事等に係る事前打ち合わせを合同で行ったり、諸準備を分担したりすることにより、教職員の業務改善、負担軽減に向けた可能性を見出すことができた。 <p>(2) 課題</p> <ul style="list-style-type: none">○ 小中両校の教職員が「たくましく生きる子どもづくり」の目標を達成するための方策を協議した上で学習活動に取り組むことで、現状よりもさらに大きな教育効果を生み出すことができると考える。○ 教職員のマンパワーに頼った学習活動では、教職員の異動によって活動の理念や運営が影響を受ける恐れがある。持続可能な学習活動にするために、コミュニティスクールの枠組みをさらに活用することが求められる。	 <p>小中合同研修会</p>  <p>小中合同運動会</p>  <p>防災デイキャンプ</p>